

総合的な学習の時間 学習指導案

授業日 令和4年8月22日 1校時

学習者 3年1組 29名

授業者 穂山 玲奈 宍戸 文絵

河村 晋一郎 山川 友洋

1. 単元名「きかんこの川と友だち」 きかんこの川の生き物を調べよう

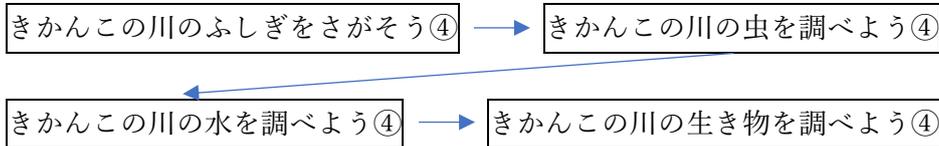
2. 単元の目標

機関庫の川について疑問や課題をもちながら主体的にかかわり、身近にある環境について、客観的に調査する方法があることを知り、調査活動を通して川の現状や課題を的確にとらえることができるようにする。また、サポートしてくれる外部講師と良好な人間関係を形成し、尊敬の気持ちをもって接しながら、自分の生き方に生かしていく。

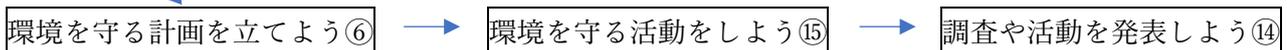
3. 単元の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 生物はその周辺の環境と関わって生きていることを理解している。 調査活動を目的や対象に応じた適切さで実施しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自然環境への関わりを通して感じた関心を基に課題をつくり、解決の見通しをもとうとしている。 相手や目的に応じて、わかりやすく表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向け、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学ぼうとしている。

4. 単元計画と学習評価（全51時間のうち4時間）



時	学習内容	主・対・深	学習評価（知・思・主）〈方法〉
1	・機関庫の川にすむ生き物を調査する計画を立てる。	 見通しを持つ	・機関庫の川にすむ生き物を予想したり、採る方法を考えたりして、学習の見通しをもとうとしているか。(思)〈ワークシート・発言〉
2	・機関庫の川にすむ生き物を捕る。	 興味や関心を高める	・調査活動を目的や対象に応じた適切さで実施しようとしているか。(知)〈活動の様子・発言〉 ・課題解決に向け、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしているか。(主)〈活動の様子・発言〉
3 (本時)	・機関庫の川にすむ生き物を知る。 外来種であるウチダザリガニを知り、なぜ多く捕れたのか考える。	  見通しを持つ 互いの考えを比較する	・機関庫の川の生き物を調査する活動を通して、外来種であるウチダザリガニが多く生息していることに気付き、今後の探究活動の見通しをもとうとしているか。(主)〈活動の様子・交流・発言〉
4	・捕った生き物について考えたことを交流し、自分の考えをもつ。	 自分の考えを形成する	・地域の自然環境への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、今後の学習の見通しをもとうとしているか。(思)〈ワークシート・交流・発言〉



5. 本時のめあて

機関庫の川の生き物を調査する活動を通して、外来種であるウチダザリガニが多く生息していることに気づき、今後の探究活動の見通しをもとうとしている。

6. 身に付けさせたい力と手立て

	キャリア教育の視点から	教科・領域の視点から	研究の観点から
目指す姿	機関庫の川について、疑問や課題をもちながら主体的にかかわることができる。	自ら学ぶ意欲と、課題を見付け追求し、解決しようとする態度を身に付ける。	互いの考えを比較する
手立て	身近な機関庫の川の生き物を調査する活動の中で、疑問に感じたことを友達・教師・ガイドと話す場を設ける。	自分ごととして考えられるように、身近な機関庫の川の生き物を捕る体験的な活動を行う。	考えの共通点や違いから、学びが深まるように、対話の場を設ける。

7. 本時の学習展開 (2・3/4)

	児童の学習活動	評価□・留意点※
導入 45分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習準備をする。 ○学習活動を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">機関庫の川の生き物を調べよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○4グループに分かれ、川にすむ生き物を捕る。 ○捕った生き物を、種類ごとに分ける。 	<ul style="list-style-type: none"> □調査活動を目的や対象に応じた適切さで実施しようとしているか。(知)〈活動の様子〉 □課題解決に向け、自分のよさに気づき、探究活動に進んで取り組もうとしているか。(主)〈活動の様子・発言〉 <p>※4グループに分かれ、安全に留意する。</p>
展開 30分 (本時)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">課題 機関庫の川にはどんな生き物がいるのでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○名前がわからない生き物についてガイドに尋ねる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">多く捕れた生き物はなんですか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ガイドの話聞き、ウチダザリガニが外来種であることや外来種について知る。 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;">ウチダザリガニが多いわけを考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○グループで交流し、ウチダザリガニが多い理由を考える活動を通して、今後の活動の見通しをもつ。 「ウチダザリガニが強い」「ウチダザリガニのエサが多い」 	<p>※川から、テラスへ移動。 雨天の場合は、2時間目から開始して、機関庫ホールにて授業。</p> <p>※ガイドは、この場面まで「外来種」について説明をしない。</p> <p>□機関庫の川の生き物を採捕する活動を通して、外来種であるウチダザリガニが多く生息していることに気づき、今後の探究活動の見通しをもとうとしているか。 (主)〈活動の様子・交流・発言〉</p>
終末 15分	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の学習の振り返りをする。 ○片付けをする。 	<p>※これからの学習でやってみたいこと、調べてみたいこと、不思議に思ったことを聞く。</p>

【助言者よりメッセージ】 山中 謙司 先生 (北海道教育大学 教育学部 准教授)

子どもたちにとって身近な存在であり、日常的に繰り返し関わるすることができる機関庫の川を題材にしている点は、子どもたちが探究的な見方を働かせ、主体的・協働的に探究活動をすることを可能にしている点で大きな価値があると考えます。本時は、川に棲む生物の中に外来種が多く生息していることに気づくことをきっかけとして、子ども自らが問題意識をもち、環境を守ることに對してどのように取り組もうとするのかといった意志的な側面が子供の姿としてどのように表れるのかが見どころとなります。また、意志的な側面を「主体的に学習に取り組む態度」として総合的な学習の時間でどのように見取ることができるのかについても検討することができます。